



リカレント教育

茨城大学リカレント教育プログラム本格始動
カスタムコース第一弾は関彰商事のプログラム

関彰商事株式会社との連携による「セキショウリカレント教育プログラム」が始まりました。今年4月に始まった「茨城大学リカレント教育プログラム」は、オープンコース、専門コース、カスタムコースの3コースで構成。「セキショウリカレント教育プログラム」は、このうちカスタムコースの第一弾プログラムとして実現しました。エネルギー事業や国内外の自動

車を扱うディーラー運営、海外での人材コンサルティング等を手がけている同社では、業務に直結する技術や知識に留まらず、さまざまな国・地域の歴史や文化、環境についての幅広い知識を身につける機会を従業員に積極的に提供しています。そうした取り組みやニーズを踏まえ、本学と同社間で昨春秋から協議を進め、基盤教育科目と人文社会科学部の開講科目から選んだ約20の授業で構成する



プログラムを用意しました。4月10日には開講式を行い、同社およびグループ企業の社員16人の受講者が受講許可書を受け取りました。受講者代表として登壇した幾浦誠さんは、「貴

重な社会人の学び直しの機会をいただいたので、多くのことを学びながら、自身の成長だけでなく、学んだことを職場に持ち帰って、今後の仕事に活かしたい」と抱負を語りました。

地域・社会

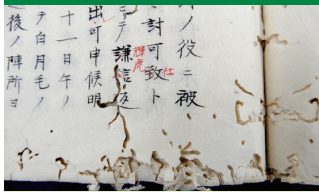


五浦「天心記念館」改装
展示内容リニューアル

五浦美術研究所内の展示室である天心記念館が改装され、このたび展示内容もリニューアルされました。今回の改修では、壁紙や壁面展示ケース、照明を新しくして明るい印象に。高さのある平櫛田中作の木彫「五浦釣人」を中心

に置くことで、広がりを感じさせる展示空間となりました。また、2011年の東日本大震災発生以降展示をとりやめていた平山郁夫作の日本画「日本美術院血脈図」(複製)や平櫛田中作「活人箭」の展示を8年ぶりに再開。さらに、これまでの復興過程の展示紹介に替えて、「岡倉天心記念六角堂復興基金」への寄付者を紹介する銘板を掲げました。あわせて五浦海岸をジオサイトのひとつとしている茨城県北ジオパーク構想のコーナーも新設。天心と五浦の結びつきについてより理解を深めることができる展示となっています。

図書館



図書館所蔵の貴重な「菅文庫」
クラウドファンディングで修繕

旧水戸藩出身の史学者・菅政友が所蔵していた貴重書(菅文庫)の修繕のため、茨城大学図書館がクラウドファンディング(CF)を利用して寄附を呼びかけたところ、118万円の寄附が集まりました。今後資料の修復作業や公開を手がけていきます。菅文庫は、1951年に茨城大学設立期成会が菅家から購入・寄贈された国書4,000部・8,000

冊、漢籍500部2,000冊、各種写本類など約10,000冊のコレクションです。その中には、カビや虫食いによる劣化が激しいものも多く、デジタル画像化の作業の上でも障害となっていました。これらについて、自己資金による修繕には限界があることから、本学としては初めてCFサービス「Readyfor」を利用して3月中旬から寄附を呼びかけたところ、約1ヶ月間の募集期間で当初目標の100万円を超える118万円の寄附が集まりました。今後、これらの寄附金を有効に活用して順次修繕作業を進め、寄附協力者などを対象に資料の内容を紹介するギャラリートークなどの企画も検討しています。

教育・学生



コミットメント・セレモニー
先輩から新入生にメッセージ

4月5日、平成31年度入学式に続き「コミットメント・セレモニー」を開催しました。本学では、ディプロマ・ポリシーとして定める茨城大学型基盤学力を全学生が確実に身につけるための仕組みを「茨城大学コミットメント」と呼んでいます。入学式後には、新入生や保護者に「茨城大学コミットメント」を知ってもらい、そのメンバーとして迎えるためのイベントとしてコミットメント・セレモニーを開催しています。今年は太田寛行理事・副学長(教育統括)の進行のもと、地域や海外で多様な活動をしている5人の学生が登壇し、iOPでやってみようこと・やってみようことを発表。その後、各学部長も登壇して新入生にメッセージを送り、各学部の入学生の代表に「コミットメント・ブック」を手渡しました。



今号の一枚



ようこそ茨城大学へ

おもなメディア掲載

- 4/2 茨城新聞「豪雨災害で意見交換 防災教育も報告」人社・伊藤哲司教授
- 4/3 読売新聞「茨大生ご当地サイダー 筑波山産名産 福来みかん使用」農学部学生たちが開発「福来サイダー(通称ぶくっぺ)」
- 4/3 NHK(水戸)「いば6」「茨城大学で入学式」
- 4/5 読売新聞「非行防げ 大学生見守り 県警で委嘱式 29人サポーターに」茨城大学や常磐大学の学生たちが任命された
- 4/9 朝日新聞「気候変動を調査 リスク回避へ 県・茨大が適応センター」
- 4/10 茨城新聞「新時代の学生へ県内大学長国際化は競争・協働へ」入学式 学びは広く深く」三村信男学長のほか県内大学の入学式における学長の言葉を紹介
- 4/10 NHK(水戸)「いば6」「<茨城大>社会人対象「リカレント教育」始める」ほか 関彰商事社員16人が出席し開講式
- 4/13 読売新聞「遊歩道に咲く桜 紹介マップ作成 茨城大農学部」農学部広報委員会が「さくらマップ」作成、阿見町役場などで配布
- 4/16 NHK(水戸)「いば6」「大学に期日前投票所」統一地方選で水戸・日立キャンパスに期日前投票所を設置
- 4/17 NHK(水戸)「いば6」「天心記念館」改修工事終わる」
- 4/21 茨城新聞「<2019統一地方選>若者の関心高める 学生ら課題・政策議論 水戸」ドットジェイビー水戸支部代表の人社・黄川田梨花さんコメント
- 4/24 朝日新聞「<ピープル>茨城大に進学した「農女ファーム」代表 大久保 実有花さん こだわり卵で新商品開発」
- 4/24 朝日新聞「茨大生らに人気 名物「青中」復活 ネパール出身ロメッシュさん 閉店跡地に開業「残したい」と特別重なる」水戸キャンパス付近の食堂・宝珍楼の味を引き継ぐ
- 4/26 NHK(水戸)「いば6」「LGBT支援策の勉強会」県の勉強会、座長の人社・清山玲教授がコメント
- 4/29 毎日新聞「<くらしナビ>ライフスタイル」>「服育」で衣服に愛着持とう」人社・長田華子准教授コメント